

11月16日 吹田メシアターにて 第3回 ふれあい交流祭が開催されました！

ふれあい交流祭を終えて！

NPO法人大阪府コミュニティカレッジ 理事長 船本 幸二

当日は天候にも恵まれ、準備委員の皆さんが段取り良く会場の設営、学科毎の準備も順調に整えられて、開会を迎えることができました。これも実行委員長はじめ各実行委員の企画準備からのご努力の賜物と心からお礼申し上げます。



「ONCCふれあい交流祭」は全科受講生が集い、各科の学習と諸活動を発表して相互の親睦交流をはかり、併せて高齢者大学地域同窓会やシルバーアドバイザー地区会など地域との交流も行います。また、受講生の方々に実行委員会を編成していただき交流祭を運営していただいております。

終了後の受講生の感想で、“日頃の発表で皆の仲間意識がすばらしい、とてもいい一日でした、参加できて良かった”、“たくさんの人や懐かしい人に会って楽しい時間でした”。

そして印象的だったのは、“昨年11月病気で、手術もできない状態だった方が、交流祭を見学に来られて、皆で賑やかに話をされていました、元気になられて本当に良かったです”とのお話でした。

後日の反省会では、いろいろとご指摘もありましたが、今後の交流祭の進め方を再検討して、次に備えたいと思います。

最後に、正副実行委員長並びに各委員の皆さまのご努力に感謝申し上げますとともに、ご支援ご協力をいただいた、同窓会各地区会、SA北部地区会他関係各位に御礼申し上げます。

ふれあい交流祭実行委員長 福崎 賢太郎

こんにちは！寒暖差が激しい今日この頃ですが、お変わりありませんか？

先日の第3回ONCCふれあい交流祭は、事故も無く無事終了しました。皆様のご協力のお蔭と心より感謝しています。

当日は、朝早くからワイワイ・ガヤガヤと楽しそうに準備を進められている様子を拝見し、実行委員会メンバーと長期間に渡り、頑張って準備して来た甲斐があったとホッとした反面、昼過ぎ辺りから中弛みの感があり、もう少し皆さんに楽しんでいただく工夫も必要だったと複雑な思いで当日を過ごしました。

実行委員会メンバーの思いも同様であったと思います。その思いは、最終の実行委員会で真剣に議論をし、次回のふれあい交流祭に反映していただくこととしました。

ただ、この交流祭は、生徒一人一人の手造りのお祭りです。私達生徒としては、自分が楽しむ事はもちろん大切ですが、それ以上に出来る範囲で、自分が何かする事で、他の人にも楽しんでいただくことも大切だと思います。

今後とも、生徒全員で協力して、今年以上に楽しい交流祭となるよう頑張りましょう！



運営部会

第3回ONCCふれあい交流祭は昨年と同じ会場であり、昨年の運営部会作成の各種資料やONCC事務局の助言により昨年の反省点が生かされ、会場準備から閉会まで順調に進み交流祭が無事終了出来た事を喜んでいる。

特に、直前の各教室への会場入場とその時間帯周知、会場準備責任者による直前確認調査、準備時間帯における担当者名札着用による一般者の入場制限等で、会場準備が速やかに進められた。

集会室の各教室紹介や研究成果発表は興味の注がれる見応えのあるものであった、展示室等の絵画や写真は人気コーナーで鑑賞者も自ら描いてみたい雰囲気醸し出していた。（文：田之口 勇）



展示部会

ONCCに初参加の身なれど、あれよあれよと、何も分らぬ間に、クラス代表、ふれあい交流祭展示部会実行委員となりましたが、何とか大過なく交流祭を終えることが出来ました。以下、新米から見えた、気付いた事を述べたいと思います。

1) 参加者の姿勢に温度差が大であること（既経験者、他講座の同時重複受講者の一部に?）

2) 展示ブース等でのアピール度が絵画等の自己表現に比し、歴史等の講座の発表は自己学習のまとめに留まり、ONCCのキャッチフレーズである地域連携迄広がりがなく、他者へのアピールを含めて、プレゼンテーションの実施等に工夫が必要と考えます。（文：南田 安紀）



パフォーマンス部会

第1回実行委員会において6つの部会の役割分担が決められ、何もわからぬままに役割分担の希望を出さなかったところ最後に残ったパフォーマンス部会を担当することとなりました。何をどうしていいか見当もつかない中、前年度資料を見乍ら、まず演目の希望調査から入り、最終的には、昨年比3つ少ない9演目となりました。

演目代表者と頻りに連絡を取りながら演目の正確な時間の再報告と演技時間の延長をお願いし、昼の休憩時間を1時間設けることで何とか格好がつかしました。

その後メイシアター側の舞台監督と演者代表者とのきめ細かい打ち合わせを行い、演目代表者と何度もメールで打ち合わせを行いました。その結果パフォーマンスの本番ではほぼ予定通りの時間でスムーズに進行が出来、演者の皆様も日頃の練習の成果を存分に発揮して頂き、非常に内容のあるパフォーマンスが出来たと喜んでます。

昨年同様、中ホールの観客がやや寂しかったのが残念でした。（文：前田 正臣）



交流部会

クラス代表になって、ふれあい交流祭の実行委員会があると言われ、手伝わねばと思ひ会合に出席したが、「ふれあい交流祭はあなた達生徒が中心になって実施するのです。ONCCがやるのではありません」と言われてびっくりしました。

ONCCの人もメンバーに入っているものの、経験者はほぼゼロで、ほとんど助けにはならずじまいでした。



交流部会は3教室（水彩科、地域福祉科、カメラフォト科）で担当を分担（珈琲担当、抹茶担当、弁当・サンドイッチ担当）することになりました。分担していなければ負荷が多すぎ混乱したと思います。

2回目か3回目かの実行委員会の場で、「実行計画書を作成して、次回の実行委員会の場で説明、了解を得てくれ」と突然ONCCから言われて焦りました。

他にも、混乱することが多々ありましたが仲間の協力を得て、当日券を含めてほぼ完売することができ、成功裏に交流部会の役割を終えることが出来ました。（文：池田 秀之）

広報・記録部会

当部会では、歴史ロマン科4期とアウトドア科4期の部会員、CAの協力のもと、広報資料（チラシ、プログラム）の作成、会場内の案内板作成・掲示、並びに交流祭当日の開場内の様々な光景（会場設営、開会式、展示、交流、パフォーマンス等々）を写真に残す作業を担当しました。

以下に、当部会員が撮影しました交流祭の風景の一部をご紹介します。

会場設営風景



開会式風景



展示風景





交流風景



パフォーマンス



ONCC会員の入会ご案内

平成28年度 NPO 法人「正会員入会」のお願い！

平素は、ONCCに温かいご支援ご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。4年目を迎え、地域の皆さまの多様なニーズに応えられるよう、事業の一層の充実に努めてまいります。つきましては、地域の多くの皆さまに「正会員新規加入」のお力添えを頂きますようお願い申し上げます。

会員の皆さまには、

- ①各学科・公開講座・イベント等を優先的にご参加いただけます。
- ②カレッジの事業運営に関して、建設的なご意見を期待しています。

平成28年度「正会員」にご入会いただけます方は、下記「正会員入会申込書」に年会費 3,000 円を添えて、ONCC連絡事務所又はお知り合いの役員等にお届け願います。

会費の振込みの場合は、下記の口座へ振込み後に「正会員入会申込書」を連絡事務所宛に、郵送にてお届けをお願い致します。（赤い「払込取扱票」にて、手数料加入者負担です）

◆郵便振込口座番号 0930-6-233423 加入者 NPO法人大阪府北部コミュニティカレッジ

編集後記 盛会に開催された「第3回ONCCふれあい交流祭」、回を重ねるごとに実行委員会の献身的な活動と各学科受講生との連携がより密になり、企画から準備及び当日の運営など円滑に推進されました。地域同窓会・SA北ブロック地区会のご協力もいただきました。

今後、より充実した「交流会」に向けて、課題の解決と地域の多くの方々にも来場いただけるよう広報活動の工夫も必要との意見がありました。

次回の「交流祭」を楽しみにしましょう！ 皆さまお疲れさまでした。（佐保田）

